

**岐阜県図書館改革
アクションプラン
平成22年度**

岐阜県図書館改革方針実現のために

平成22年8月
岐阜県図書館

はじめに

岐阜県図書館では、平成21年度に、県図書館が果たすべき役割、目指すべき方向性、中核図書館として真に必要な機能やサービスのあり方を「岐阜県図書館改革方針」としてまとめ、これに基づくアクションプランを策定し、改革方針の実現に取り組んでいます。

このたび、「岐阜県図書館改革方針」および平成21年度図書館評価の結果に基づき、平成22年度のアクションプランを次のとおり策定しました。

広域性の発揮に関して

平成21年度図書館評価の結果から

- 自己評価の結果、今後の課題として、次のことが挙げられました。
 - ・ 相互貸借の物流体制の強化がより効果を発揮するよう、相互貸借サービスの広報に努めること。
 - ・ 出前講義の依頼が増えるよう、市町村図書館等に対し周知に努めること。
 - ・ 県行政との連携に向けたさらなる方策を検討すること。
 - ・ 岐阜県美術館との連携事業を継続実施すること。
 - ・ 専門図書館との連携を具現化すること。
- 図書館協議会からは、次のような意見をいただきました。
 - ・ 県図書館は県民すべてへのサービスを優先すべきであり、そのためには市町村図書館を支援する必要がある。
 - ・ 市町村図書館をベースにした講演会や研修会を開催してほしい。
 - ・ 美術館の企画展に合わせて、図書館に関連コーナーを設けてはどうか。
 - ・ 相互貸借をはじめとして、県図書館のサービスを効果的に広報する必要がある。
- こうした結果をふまえ、平成22年度の取り組みを実施します。

○平成22年度の取り組み

1 市町村図書館等のバックアップ、利用促進

- ・ 北陸3県の各県立図書館との物流に関する相互協力協定に基づく各館の相互貸借業務支援（4月）
- 改・ 相互貸借サービスの効果的な広報の実施

- ・ 研修参加機会の地域格差を解消するために、研修会を県下各地で開催
 - 22年度は郡上市、飛騨市、関ヶ原町で開催
- 改・ 図書館職員向け研修を、対象者を明確にし体系化して実施（4月～）
 - ・ 出前講義の周知に努めるほか、地区別意見交換会等を積極的に実施
 - 出前講義を7件受付（8月まで）
 - 地区別に相互貸借担当者会議を開催（5月～6月）
 - ・ 岐阜県公共図書館協議会と協力し図書館MAPを作成
- 新・ 公民館図書室への支援強化に向けた検討

2 学校図書館への支援を中心とした、子どもの読書活動の推進

- 改・ 職員研修、選書に役立つ情報提供など、「岐阜県子どもの読書活動推進計画～第2次～」で県図書館に求められている役割の推進
 - 県読書感想文コンクール50回を記念して、小中学生部門を新たに設置
- ・ 体系化された研修への学校図書館関係者の参加推進
 - 美濃地区、飛騨地区、西濃地区の研修会の開催について各地区小中学校へ案内

3 県行政機関との連携

- 新・ 県行政機関からの利用促進・レファレンス増加に向けた方策の検討
 - 県の職員研修所のカリキュラムの中で図書館活用の研修の実施
- ・ 県行政機関との連携事業の実施
 - 全国豊かな海づくり大会と連動した企画展示の実施（4月～6月）
 - 自助実践200万人プロジェクトとの協賛事業を実施（7月）
- ・ 県美術館との連携
 - 「絵本のなかの住人たち」展（6月～9月）・・・地元作家による作品展示（図書館）とワークショップの開催（美術館）
 - 美術館の企画展に関連したテーマの資料展示（7月）
- ・ 議会図書室、総合教育センター、（財）岐阜県産業経済振興センター等との、相互貸借、レファレンス等での相互協力体制の確立
 - 議会図書室と共同で「岐阜県議会史」目次を電子化（実施中）
 - 館種を越えた図書館と協力し、職員研修事業・図書館なんでも相談（岐阜県図書館協会主催）を開催（7月）

4 その他

- 新・ ホームページを利用した分かりやすい広報の実施

専門性の発揮に関して

平成21年度図書館評価の結果から

- 自己評価の結果、今後の課題として、次のことが挙げられました。
 - ・レファレンス推進委員会や分野別専門化を通して、引き続き職員の専門性向上を図ること。
 - ・レファレンス統計の館内での統一的な基準を定めるほか、質的な評価の方法を検討すること。
 - ・県内専門図書館とのレファレンスサービス協力体制を確立すること。
 - ・作成途中の郷土関係二次的資料（市町村史目次）を22年度中に完成させること。
 - ・児童図書研究室資料の利活用を進めること。
- 図書館協議会からは、次のような意見をいただきました。
 - ・研究会等を通して、職員の専門性向上に努めてほしい。
 - ・PDF資料の保存および提供方法の確立を早急に行ってほしい。
 - ・専門書について、県内大学図書館との連携を図るとともに、市町図書館とは異なる選書を行うべきである。
 - ・パスファインダーは作成するだけでなく、継続的なメンテナンスが必要である。
- こうした結果をふまえ、平成22年度の取り組みを実施します。

○平成22年度の取り組み

1 当館職員の専門性の向上

- 改・レファレンス推進委員会にて、専門性の向上のための方策を検討
 - 朝のクイックレファレンス研修を試行（6月～）
- ・パスファインダーの体系的な作成（1人1パスファインダー）
 - パスファインダー作成のための書式等の整備、パスファインダーコーナーの設置（4月～）
 - 作成済みパスファインダーのメンテナンス体制の確立
- ・選書、レファレンス等における職員の分野別専門化の推進
 - 書架整理に分野別担当制を導入（21年度より継続）
 - 選書に分野別担当制を導入（4月）
 - レファレンスへの分野別担当制導入を検討
- ・レファレンスへの雑誌の活用に関する検討

2 特色あるコレクションの充実と利活用

- 改・岐阜県関係情報のデータベース作成
 - 21年度より作成中の県内各市町村史目次索引を完成・公開し、資料の利活用を推進
 - その他、岐阜県関係情報のデータベースの作成を継続
- ・PDF資料（郷土資料、行政資料等）をはじめとするデジタル資料の保存および提供方法の確立
 - 他県の県立図書館のPDF資料保存・提供方法の調査（実施中）
 - 県の全課、市町村の総務課および国の出先機関にPDF資料収集のための依頼文書を送付（4月）
 - 将来的な電子書籍の導入と提供のあり方について検討を開始
- ・児童図書研究室資料のパッケージ化の推進等、資料利活用の拡充
 - 児童図書研究室資料を、研究目的の個人利用者へ貸出開始（4月）
 - 児研パックを団体へ貸出開始（4月）
- 新・貴重な古地図約3,000枚をデジタル画像化

3 研修機会（職員対象）の充実

- ・体系に基づく研修の実施
- ・地区別の関係者会議等の場を活用した、県内市町村図書館等への講師派遣事業の実施

4 その他

- ・大学図書館との相互協力協定に基づく図書館ネットワークとしての専門性発揮
 - 中部学院大学・中部学院大学短期大学部との相互協力協定に基づく協力事業の開始（4月）
- ・大学図書館、専門図書館と連携したレファレンスサービスの充実
 - 岐阜大学と連携に向けた協議を開始（5月）
 - 専門図書館と連携に向けた協議を開始（7月）

経営の視点に関して

平成21年度図書館評価の結果から

- 自己評価の結果、今後の課題として、次のことが挙げられました。
 - ・ 総合案内を設置したことの効果を、総合案内での相談件数、各カウンターでのレファレンス件数の推移により計ること。
 - ・ 雑誌スポンサー制度の導入について、導入結果とその効果を指標とすること。
 - ・ 施設管理部門への指定管理者制度導入を検討すること。
 - ・ 「効率性の発揮」について、より適切な評価指標・数字目標値を定めること。
- 図書館協議会からは、次のような意見をいただきました。
 - ・ 雑誌スポンサー制度の導入効果を知りたい。
 - ・ 講堂や会議室の活用をもっと積極的に考える必要がある。
 - ・ 「効率性の発揮」について、具体的な効果を知りたい。適切な評価指標と数字目標を定めてほしい。
- こうした結果をふまえ、平成22年度の取り組みを実施します。

○平成22年度の取り組み

1 利便性に配慮した施設・設備面の整備

- ・ 利用者の立場に立った開架資料の配置の推進
 - 健康医療情報（仮称）プロジェクトチームの立ち上げ（6月）

新・ 楽書交流サロンのテレビコーナーの改修

2 利用機会の公平を考慮した館内サービスの変更

- ・ 延滞資料がある場合の新規の貸出・予約停止の厳格化（従来の2ヶ月の猶予期間を撤廃・経過措置を設け実施）（5月）

3 効率的運用のための業務の見直し

- ・ 総合案内窓口の利用促進と、利用状況を把握した改善

新・自動貸出機の利用促進

---貸出カウンター混雑時に、総合案内職員が積極的に自動貸出機を案内

- ・ 雑誌スポンサー制度の実施（5月～）
- ・ 映画会、文化講座、読書活動研修会、書庫ツアーの原則休止

※ 定例の映画会は休止したが、各種イベントに関連した映画会は不定期に実施中

- ・ 託児事業を週2回から週1回に削減（4月）

新・おはなし会（乳幼児向け）を月2回から月1回に削減（4月）

4 施設管理の効率化

- ・ 平成24年度の施設管理部門への指定管理者制度導入に向け、具体的に検討を開始
- ・ 2階展示コーナー・1階企画展示室の有効活用の推進
 - 企画展示室を「絵本のなかの住人たち」展に利用（6月～9月）
 - 2階展示コーナーを所蔵資料の常設展示室として活用（6月～）
- ・ 太陽光発電装置の設置（年内設置 45KWH）

5 自己評価および外部評価の実施

- ・ 自己評価の実施（21年度より継続）
- ・ 図書館協議会での外部評価の実施（21年度より継続）
- 新・ 来館者アンケート（4月）および非来館者アンケート（11月）、県内公共図書館アンケート（4月）を実施し、図書館評価へ反映

6 その他

- ・ 県内図書館の新設等の動向を把握し、県図書館サービス業務の適切な運用を遂行
 - 新館建設予定の自治体を訪問し、情報収集（随時）
 - 建設予定の岐阜市立図書館新館との機能分担について検討を開始

数字目標値一覧（H22）

広域性の発揮のための具体的数字目標値

指標		H21	H22	H25
県図書館相互貸借貸出冊数	目標	17,000冊	21,000冊	30,000冊
	実績	15,168冊		
	達成率	89%		
県図書館ウェブサイトアクセス件数	目標	300,000件	350,000件	500,000件
	実績	350,858件		
	達成率	117%		
市町村図書館への出前講座等	目標	16回	18回	24回
	実績	17回		
	達成率	106%		
県内図書館職員向け研修における満足度指数	目標	75%	80%	90%
	実績	89%		
	達成率	119%		
セット文庫貸出校数	目標	-	97校	150校
	実績	81校		
	達成率	-		
県行政機関（県職員）からのレファレンス件数	目標	-	35件	200件
	実績	29件		
	達成率	-		

専門性の発揮のための具体的数字目標値

指標		H21	H22	H25
県図書館レファレンス件数	目標	9,000件	9,800件	12,000件
	実績	7,092件		
	達成率	79%		
県図書館パスファインダー作成件数	目標	10件	30件	90件
	実績	5件		
	達成率	50%		
県図書館郷土関係等二次的資料作成件数	目標	10件	11件目着手	12件
	実績	7件		
	達成率	70%		
児童図書研究室資料のパッケージ作成件数	目標	-	5件	10件
	実績	-		
	達成率	-		

効率性の発揮のための具体的数字目標値

指標		H21	H22	H25
所蔵資料利用率	目標	-	H21より増加	117%
	実績	97.4%		
	達成率	-		
雑誌スポンサーによる寄贈雑誌種数	目標	-	-	未設定
	実績	-		
	達成率	-		
自動貸出機による貸出冊数	目標	-	185,000冊	
	実績	168,459冊		
	達成率	-		
総合案内窓口相談件数	目標	-	16,000件	
	実績	-		
	達成率	-		

(参考指標) 県全体のサービスの指標にかかわる具体的数字目標値

指標		H21	H22	H25
県内公共図書館来館者数(当館以外)	目標	4,543,000人	4,718,000人	5,241,000人
	実績	4,616,723人		
	達成率	102%		
県内公共図書館登録者数(当館以外)	目標	918,000人	953,400人	1,059,000人
	実績	905,694人		
	達成率	99%		
相互貸借定期便 県内図書館間利用数(冊)	目標	-	H21より増加	9,100冊
	実績	7,558冊		
	達成率	-		
同 県内・東海北陸地区利用数(冊)	目標	-	H21より増加	2,400冊
	実績	1,988冊		
	達成率	-		
県内外パスファインダー利用可能件数	目標	44件	98件	260件+ α
	実績	67件		
	達成率	152%		
岐阜県内図書館障がい者サービス実施館(市町村図書館等34館中)	目標	17館	17館	24館
	実績	19館		
	達成率	112%		